

丑(うし)年生まれ！ 2009年の豊富を語る

萩口 和之(1961年生まれ)
館林地協 議長



私自身の抱負ですが、政権交代に向けて単組・地域の関係なくあらゆる場面に全力で取り組みます。また、地協の中では毎年恒例の「ぐんまふれあいフェスティバルin館林」を成功させたいと思います。加えて、単組の中では世の中の情勢に変化対応型で向き合い、地域の中では温故知新的な対応で活動を進めて行きます。
皆さんの力を借りながら、年男として素晴らしい一年となるように精一杯頑張りますので宜しくお願いします。
次の年男までは生きていたいなあ~!!
(これが本当の抱負)

栗原 靖(1973年生まれ)
藤岡地協 議長



昨年後半からの経済不況により、地域内でも非正規労働者の契約解除や職員の賃金問題、職場における労働条件の悪化など様々な声が聞こえてきます。また、最近では、私の周りでも過重労働や人間関係の影響でメンタル面に不調を訴える方が多くなっています。そのような状況下、これまで軽視されてきた労働の尊厳に対し、期待の高まりを感じるのも事実です。
藤岡地協は県内12地協の中で一番小さな組織ですが、今後予想される困難な情勢に対し、独自性を打ち出し精一杯活動していきたいと思っておりますのでご支援をよろしくお願い致します。

宮下 昌文(1961年生まれ)
沼田地協 事務局長



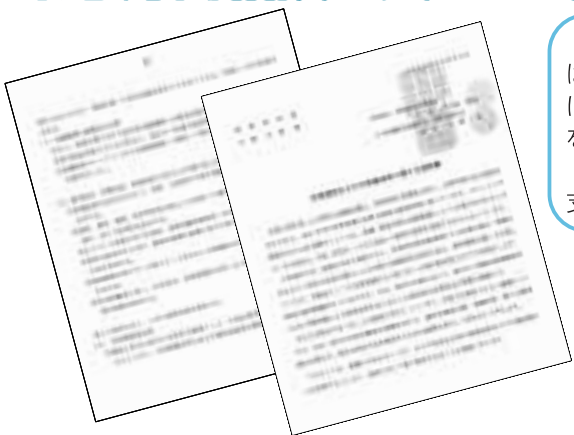
見た目のポッチャリ体型と持ち前の高血圧のため、さっそく特定保健指導(いわゆるメタボ検診)に該当してしまいました。現在飲酒の減量とウォーキングを日課としています、と言いたいところですが、最近飲む機会も多く、寒くて動きも鈍くなり、まるで牛のよう…あ、丑年の年男でした。
4度目の年男ですが、非正規労働者時代が長かったため、「ねんきん特別便」で改めて知ったまだ20年9月しか年金加入していないという現実。まだ頑張って働かないと…。
脱メタボ、健康第一をスローガンに、妻と3人の子ども達を支える父親は、今年も元気に仕事、労働運動、地域活動に取り組みます。

後藤 克己(1973年生まれ)
群馬県議会議員



当選以来2年近くが経ちますが、毎朝の街宣活動も怠らず継続する中で、多くの組合員の皆様をはじめとする県民に激励をいただいています。お陰様で「県民、働く者の目線」をブレずに貫くことができました。また、「リベラル群馬」の政策担当として、連合政策制度要求の実現に向け、執行部との連携強化、県議会での徹底した働きかけの強化に尽力して参りました。
今年は、組合員の皆さんと「直接」語り合える場を是非とも多くつくりたい。各労組との接点を大切に学習会等にも喜んで伺いますので、どしどし声を掛けてください。

緊急労働相談を受けて、群馬県知事・労働局長宛で要請



▲ 要請文

昨年12月11日(木)・12日(金)に実施した「緊急労働相談ダイヤル」では、19件の相談が寄せられました。この結果を踏まえて、12月22日(月)に群馬県経営者協会と共同で「政策運営および予算編成等に関する要請書」を大澤群馬県知事に提出しました。

また、同日鮫島群馬労働局長にも、労働基準監督署の機能強化や再就職支援に向けた親身な対応を含めた要請文を提出しました。



▲ 大澤群馬県知事へ



▲ 鮫島群馬労働局長へ